

## 農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成18年12月27日公表

平成18年産 かんしょ、豆類（乾燥子実）作付面積  
及び果樹、茶栽培面積（九州）

- かんしょの作付面積は増加 -

## 【調査結果の概要】

## 1 かんしょ

かんしょの作付面積は1万9,000haで、前年産に比べて600ha(3%)増加しました。

これは、宮崎県及び鹿児島県において、醸造用の需要が増加したことにより作付面積が増加したためです。

## 2 豆類（乾燥子実）

大豆（乾燥子実）の作付面積は2万2,500haで、前年産並みとなりました。

表1 平成18年産 かんしょ・豆類（乾燥子実）の作付面積

区 分	田畑計			田			畑		
	作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較		作付面積	前年産との比較	
		対差	対比		対差	対比		対差	対比
	ha	ha	%	ha	ha	%	ha	ha	%
かんしょ	19 000	600	103	1 260	90	108	17 700	500	103
大 豆	22 500	100	100	21 500	0	100	1 000	70	94
小 豆	777	89	90	338	60	85	439	29	94
らっかせい	417	60	87	35	5	88	382	55	87

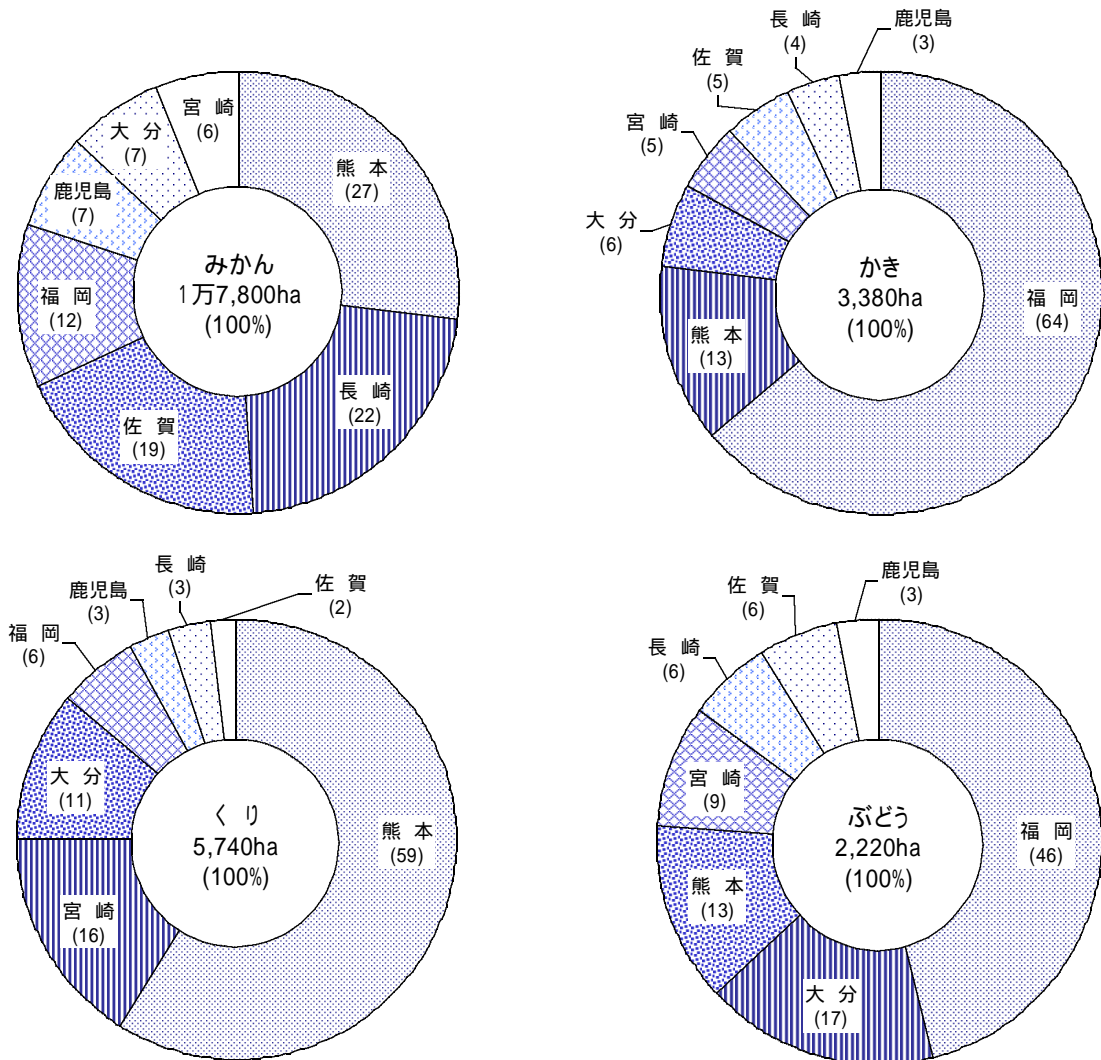
この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。  
【[http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht\\_all.html](http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html)】  
この統計調査における調査の目的、調査の対象などは、【調査の仕様】P7に記載しています。

### 3 果 樹

主な品目の栽培面積をみると、みかんが1万7,800haで前年に比べて700ha(4%)減少したのをはじめ、くりは5,740haで同80ha(1%)、かきは3,380haで同40ha(1%)、ぶどうは2,220haで同30ha(1%)、いずれも減少しました。

これは、各品目ともに管理不良園の廃園等によるものです。

図1 主な果樹の県別栽培面積割合(平成18年産)

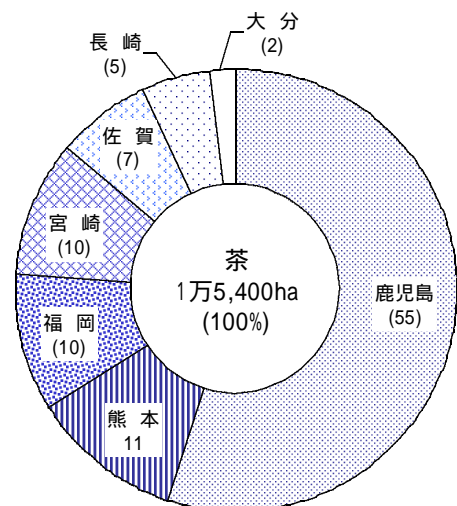


### 4 茶

茶の栽培面積は1万5,400haで、前年に比べて100ha(1%)増加しました。

これは、鹿児島県及び宮崎県において、生産振興に伴う規模拡大が図られたことによります。

図2 茶の県別栽培面積割合(平成18年)



# 統 計 表

## 【目次】

	ペ - ジ
1 かんしょ・豆類（乾燥子実）作付面積	
・かんしょ -----	4
・大豆、小豆、らっかせい -----	4
2 果樹栽培面積	
・みかん、なつみかん、ネ - プルオレンジ -----	4
・はっさく、いよかん -----	4
・その他かんきつ類（不知火・清見・ポンカン） -----	4
・りんご、ぶどう、日本なし、もも、びわ -----	5
・うめ、かき、くり、すもも、キウイフル - ツ -----	5
3 茶栽培面積 -----	5
4 関連するデータ及び情報 -----	6 ~ 7

## 【利用上の注意】

- 1 計と内訳は、ラウンド（四捨五入）のため一致しない場合があります。
- 2 表中の記号は、以下のとおりです。

この統計表で使用した記号は、次のとおりです。

「 0 」……………単位に満たないもの 「 - 」……………事実のないもの

「 」……………減少したもの 「…」……………事実不詳又は調査を欠くもの

原	数	7桁以上	6桁	5桁	4桁	3桁以下
	ラウンドする桁（下から0の数）	3桁（000）	2桁（00）		1桁（0）	ラウンドしない
例	計算数値（ラウンド前）	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	計算数値（ラウンド後）	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

【統計表】

1 かんしょ、豆類（乾燥子実）作付面積

区分	かんしょ		大豆				小豆		らっかせい	
	作付面積	対前年差	作付面積	対前年差		作付面積	対前年差	作付面積	対前年差	
				田作	田作					
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
九州計	19 000	600	22 500	21 500	100	0	777	89	417	60
福岡	194	16	8 110	8 050	320	330	74	3	6	0
佐賀	118	3	7 490	7 350	120	130	97	1	9	1
長崎	556	28	546	423	71	51	90	5	90	20
熊本	1 250	0	3 080	2 740	20	10	211	15	27	0
大分	307	1	2 420	2 310	430	370	210	68	50	1
宮崎	2 870	440	457	334	9	56	63	2	61	14
鹿児島	13 700	200	386	291	20	16	32	1	174	24

2 果樹栽培面積

区分	みかん		なつみかん		ネーブルオレンジ		はっさく		いよかん	
	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差
九州計	17 800	700	1 290	80	191	19	215	26	489	53
福岡	2 120	110	85	6	20	3	38	9	42	11
佐賀	3 400	170	39	2	13	1	28	2	206	18
長崎	3 870	60	58	0	6	0	34	1	87	3
熊本	5 080	60	644	48	100	12	33	2	52	5
大分	1 220	90	138	11	34	2	51	9	71	15
宮崎	933	67	17	4	13	1	26	3	2	0
鹿児島	1 230	40	312	4	5	0	5	0	29	1

区分	その他かんきつ類							
	栽培面積	対前年差	うち、不知火		清見		ポンカン	
			栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
九州計	7 030	40	1 900	50	376	30	1 430	60
福岡	262	5	32	0	29	2	16	0
佐賀	448	3	266	8	76	9	39	0
長崎	368	15	185	15	27	1	66	0
熊本	2 230	40	1 140	0	175	12	248	7
大分	988	22	69	2	59	7	167	12
宮崎	775	5	50	11	0	0	125	8
鹿児島	1 960	60	161	14	10	1	766	36

区 分	りんご		ぶ ど う		日 本 な し		も も		び わ	
	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
九州計	57	3	2 220	30	2 180	50	398	10	1 110	70
福 岡	18	2	1 030	10	526	22	125	8	55	2
佐 賀	5	0	125	5	399	4	26	2	43	4
長 崎	1	0	126	0	85	1	34	2	612	23
熊 本	19	0	283	5	627	2	144	1	64	17
大 分	9	1	372	7	418	19	41	1	69	1
宮 崎	5	0	205	0	76	2	18	2	5	0
鹿児島	0	0	78	2	48	3	10	0	265	25

区 分	う め		か き		く り		す も も		キウイフルーツ	
	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差	栽培面積	対前年差
	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
九州計	1 950	20	3 380	40	5 740	80	376	11	509	10
福 岡	460	14	2 160	30	319	20	106	5	307	7
佐 賀	199	3	162	2	134	2	19	1	61	2
長 崎	139	1	136	1	136	4	9	1	21	0
熊 本	215	11	454	5	3 410	10	46	1	29	2
大 分	341	2	194	0	610	46	65	1	69	17
宮 崎	219	4	163	0	939	2	23	1	9	0
鹿児島	373	1	110	0	188	0	108	7	13	0

### 3 茶栽培面積

区 分	栽 培 面 積		栽 培 面 積 対 前 年 差
	ha	専用茶園 ha	
九州計	15 400	15 000	100
福 岡	1 580	1 560	0
佐 賀	1 040	1 020	0
長 崎	764	755	17
熊 本	1 660	1 510	0
大 分	348	312	3
宮 崎	1 580	1 500	30
鹿児島	8 460	8 350	70

## 【関連するデータ、情報】

### 1 かんしょ・豆類作付面積累年表(九州)

年次	かんしょ ha	大豆 ha	小豆 ha	らっかせい ha
平成9年	20 100	12 800	1 450	884
10年	19 700	17 900	1 420	790
11年	19 000	18 500	1 310	693
12年	18 200	20 900	1 270	628
13年	17 500	25 300	1 190	595
14年	16 700	26 300	1 110	583
15年	16 500	26 000	997	523
16年	17 400	24 000	949	479
17年	18 400	22 600	866	477
18年	19 000	22 500	777	417

### 2 果樹栽培面積累年表(九州)

年次	みかん ha	なつみかん ha	はっさく ha	いよかん ha	ネーブルオレンジ ha	その他かんきつ類 ha	りんご ha
平成9年	24 500	2 010	486	1 180	462	6 930	107
10年	23 700	1 930	444	1 110	427	7 010	100
11年	23 100	1 850	402	1 050	386	6 990	97
12年	22 400	1 750	375	963	358	7 050	89
13年	21 300	1 650	320	838	302	7 060	86
14年	20 600	1 580	297	755	269	7 030	84
15年	19 800	1 520	282	654	247	7 050	76
16年	18 900	1 430	259	596	220	7 030	67
17年	18 500	1 370	241	542	210	7 070	60
18年	17 800	1 290	215	489	191	7 030	57

年次	日本なし ha	かき ha	びわ ha	もも ha	すもも ha	うめ ha	ぶどう ha
平成9年	2 550	3 930	1 520	533	471	2 080	2 750
10年	2 550	3 830	1 490	513	455	2 090	2 680
11年	2 530	3 730	1 430	502	440	2 080	2 620
12年	2 500	3 680	1 390	483	430	2 080	2 580
13年	2 480	3 600	1 350	469	421	2 070	2 480
14年	2 410	3 590	1 290	462	413	2 060	2 450
15年	2 330	3 550	1 250	432	407	2 040	2 360
16年	2 280	3 470	1 210	422	393	1 990	2 290
17年	2 230	3 420	1 180	408	387	1 970	2 250
18年	2 180	3 380	1 110	398	376	1 950	2 220

参考: その他かんきつ類のうち主なかんきつ内訳

年次	くり ha	柿フルーツ ha
平成9年	6 790	778
10年	6 660	704
11年	6 540	658
12年	6 480	627
13年	6 330	597
14年	6 210	571
15年	6 140	555
16年	6 050	543
17年	5 820	519
18年	5 740	509

年次	不知火 ha	清見 ha	ポンカン ha
平成9年	...	...	...
10年	...	...	...
11年	...	...	...
12年	...	...	...
13年	...	...	...
14年	...	...	...
15年	1 670	449	1 590
16年	1 760	424	1 540
17年	1 850	406	1 490
18年	1 900	376	1 430

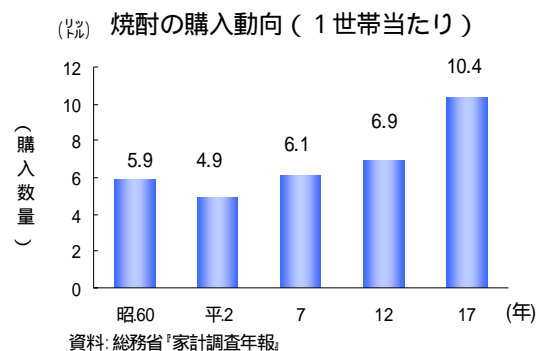
資料: 農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』による。注: 14年産まではその他かんきつ計で公表し、15年産より不知火・清見・ポンカンを内訳として分類した。

### 3 茶栽培面積累年表(九州)

年次	栽培面積 ha
平成9年	14 800
10年	14 800
11年	15 000
12年	15 200
13年	15 300
14年	15 400
15年	15 500
16年	15 500
17年	15 300
18年	15 400

資料:農林水産省統計部『耕地及び作付面積統計』による。

### 4 焼酎購入数量の推移(全国平均)



総務省の「家計調査」によると、焼酎の1世帯当たり購入数量は、平成3年から増加傾向で推移し、平成17年は10.4リットルとなっています。

## 【調査の仕様】

#### 1 調査の目的

かんしょ、豆類の作付面積や果樹及び茶の栽培面積の現状とその動向を調査し、生産対策、需給対策等に関する中期的及び長期的な農林行政を推進するための基礎資料とすることを目的とする。

#### 2 調査の対象

各都道府県を対象に行っている。

#### 3 調査期日

果樹・茶	平成18年	7月15日
かんしょ・豆類	平成18年	9月1日

#### 4 調査方法

センター職員による関係団体に対する面接調査、巡回・見積りによる。

#### 5 調査客体数

豆類・果樹・茶  
 面接調査：305団体等  
 巡回・見積り：261市町村  
 かんしょ  
 面接調査：295団体等  
 巡回・見積り：261市町村

#### 6 集計方法

各都道府県の結果を積上げ集計している。

#### 7 目標(実績)精度

本調査においては、目標精度は設定していない。

## 8 用語の解説

作付面積とは、非永年性作物をは種又は植え付けし、発芽又は定着した作物の利用面積のことである。（水稻・野菜等）

栽培面積とは、永年性作物の利用面積のことである。（果樹・茶等）

専用茶園とは、茶の栽培が1か所に1a以上集団的に栽培され、かつ、この茶園で混作、間作がないものをいう。

### 【掲載内容に関するお問い合わせ先】

本統計調査結果について

連絡先：九州農政局 統計部

生産流通消費統計課 生産統計第1係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 (内線4754)

直通電話： 096 - 353 - 7573

農林水産統計全般について

連絡先：九州農政局 統計部

統計企画課 企画第2係

電話：(代) 096 - 353 - 3561 (内線4723)